

マンドム、「ひと・環境にやさしく、未来を創造する工場」を目指して 福崎工場内に新生産棟を建設し、生産能力を 1.6 倍に ～未来志向で、新たな価値をプラス～

株式会社マンドム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンドム)は、創業 100 周年にあたる 2027 年でのありたい姿「VISION2027」※1 の実現を目指し、今中期 3 カ年経営計画(2018 年 3 月期～2020 年 3 月期)では企業基盤の整備に取り組んでいます。

マンドムグループは、日本、インドネシア、中国に合計 4 つの工場を有し、近年成長著しいアジア市場の需要に対応しています。なかでも国内唯一の生産拠点である福崎工場は、高品質な製品づくりだけでなく、グループの生産拠点に対しての技術革新支援や人材育成支援といった役割を担っています。

この度、福崎工場の敷地内に新生産棟を建設し、生産能力を 1.6 倍に拡大します。また、剤型別分散型の工場から全剤型集約型の工場へと転換して、工場全体を一体的に機能させることで、少人化や自動化が可能となり、安全性・品質・生産性の向上や労働環境の更なる改善を図ります。加えて、化粧品工場としての新たな価値をプラスすることで「ひと・環境にやさしく、未来を創造する工場」を目指します。



この件に関するお問い合わせ先

株式会社マンドム
広報部

- 大阪本社 栗山/奥田
- 東京オフィス 下川/片岡
- プレスメール press@mandom.co.jp

TEL. 06-6767-5021
TEL. 03-5766-2485

FAX. 06-6767-5045
FAX. 03-5766-2486

■ マンドム web サイト

<https://www.mandom.co.jp>



■新生産棟の目指す姿■

1.社員が創造力を発揮できる工場

省力化やロボット化の推進、安全管理体制の強化、リラックスできる休憩室や食堂の充実など、安全・安心で快適な職場環境を整備することで、社員のモチベーションの向上だけでなく、国内外グループでの「モノづくり」に対する価値観の共有やスキル向上を目指します。

2.事業拡大に向けてスピーディー且つフレキシブルに対応できる工場

動線の最短化や原料の自動搬送システムの導入、IoTの活用による高効率で高品質な生産体制確立、多品種少量生産のための製造設備組替えの短時間化、GMPに準拠したレイアウト設計を実施し、将来の事業拡大を見据えたスペースの確保により、現在の1.6倍の生産能力拡大を図ります。

3.見学者にマダムが誇る生産技術を楽しんでご理解いただける魅力的な工場

工場の魅力を見学者にプレゼンできる大人数収容型プレゼンルームをエントランスに完備し、また製造ライン・仕上ラインの全体を臨場感をもって見渡せる見学通路を設置するなど、化粧品工場にふさわしい魅力あふれる工場を目指します。



【新生産棟の概要】

名称	新生産棟(仮称)
所在地	兵庫県神崎郡福崎町高橋 290-28 (現福崎工場敷地内)
建築面積	8,070 平方メートル(新生産棟&エントランス)
延床面積	26,102 平方メートル(新生産棟&エントランス)
階数	地上 3 階建
生産能力	約 1.6 倍 年間約 2.3 億個(福崎工場合計)
生產品目	ワックス製品、チューブ製品、液体製品
投資規模	約 110 億円 (新生産棟建設投資+新生産棟建設による生産設備投資の合計)
資金計画	自己資金
着工時期(予定)	2019 年 2 月
稼働開始(予定)	2020 年 11 月

※上記は計画段階のものであり、内容等は変更になる可能性があります。

【福崎工場全体の概要】

	2018年4月現在
竣工	1976年3月
敷地面積	71,058平方メートル
建築面積	26,749平方メートル(完成後 27,417平方メートル)
延床面積	37,641平方メートル(完成後 55,880平方メートル)
生産能力	年間約 1.4億個(期間:2017年4月~2018年3月) (完成後 年間約 2.3億個 予定)

※上記の完成後に関する記載は計画段階のものであり、今後変更になる可能性があります。

【経営に対する影響の今後の見通し】

対象設備の稼動開始予定が2020年11月以降のため、2018年3月期決算への影響はありません。

【注】

※1 「VISION2027」については、下記 URL を参照してください。

<https://www.mandom.co.jp/ir/src/strategy.html>

以上